

授業科目 発達障害治療学

【担当教員名】		対象学年	3	対象学科	理学
押木 利英子		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	15
【概要・一般目標：GI0】 発達障害に対する理学療法を实践するために必要な治療理論と原理を学ぶ 発達障害児の評価、問題点、治療プログラムの作成・治療方法を学習する					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 発達障害児に対する理学療法の治療理論が説明できる。 2. 各種治療法の概要とその適応について説明できる。 3. 発達障害をきたす疾患の評価と治療の概略が説明できる。 4. 発達障害児の生活環境を考慮し、その対応が考案できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	発達障害学概論			1	講義、ビデオ、担当：押木 利英子
2	低出生体重児の臨床と治療			2.3.4	講義、ビデオ、担当：押木 利英子
3	脳性まひ児の評価と治療（1）			2.3.4	講義、ビデオ、担当：押木 利英子
4	脳性まひ児の評価と治療（2）			2.3.4	講義、ビデオ、担当：押木 利英子
5	重度重複障害児の評価と治療			2.3.4	講義、ビデオ、担当：押木 利英子
6	染色体異常・知的発達遅滞児の評価と治療			2.3.4	講義、ビデオ、担当：押木 利英子
7	小児整形外科疾患の評価と治療			2.3.4	講義、ビデオ、担当：押木 利英子
8	まとめ				担当：押木 利英子
【使用図書】		<書名>		<著者名>	<発行所> <発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		小児理学療法学テキスト			南江堂 2010・4,000円＋税
		乳児の発達の見方のエッセンス		吉岡 博	診断と治療社 2004・1,400円＋税
参考書		写真で見る乳児の運動発達		木下孝子、中村勇	共同医書出版 1998・5,500円＋税
		脳性麻痺の類型別運動発達		ベルタ & カレル ポバース	医歯薬出版 2001・2,500円＋税
その他の資料					
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席 小テスト レポート 筆記テスト その他			毎回、出席確認を兼ねて小テストを行う。		